



議会だより



《「どんなときでも華は咲く」 菅本芳三さん》

町の魅力いっぱいの写真 (jpgデータ) をお待ちしております。
メール gikai@town.noheji.lg.jp



野辺地町
ホームページ
(野辺地町議会)

01

皆さまの思い重ねて提言へ

町のポテンシャル信じて

2

02

町民の声を背に

一般質問という名の政策提案

5~10



6月 定例会



令和7年第3回6月定例会が6月18日から20日までの3日間（本会議3日）の日程で開かれました。審議した議案は、補正予算など15議案で、一般質問では6名の議員が登壇し、町政全般について、課題への提言や質問を行いました。

本会議最終日、1月に開催した町民と議員の井戸端会議を経て、思案した『未来につなげる幸せのまち』を次代につなげる決議』を議会運営委員会（赤垣委員長）から提出され、全会一致で可決しました。

議会は住民福祉向上、実質的成果を出すため、町民の皆さまのご意見をもとに政策立案、提言することが重要です。

議員個人の考えを超えた「議会の意思」がここにある。

皆さまの思い重ねて提言へ

町のポテンシャル信じて



提言 これからの挑戦の原資に



行政サービス充実へ

- ・ふるさと納税の体験型返礼品の開発
- ・企業版ふるさと納税の獲得

聴く

動く

対話する

提言



提言 縦割りのない共生施設を



多世代が住みやすいまちに

- ・多世代が共生できるインクルージョン施設の検討



提言 あるものを新たに活かす



賑わいと稼ぐ力を

- ・空き家、空き店舗を活用した取組

予防接種費用助成へ

带状疱疹の予防を

令和7年度から带状疱疹ワクチンの定期接種が実施されています。

50歳代から発症する方が増えることから、野辺地町は独自に50、55、60歳の方へ接種費用の一部を助成します。

高額な予防接種なので、町独自で50歳からの助成はありがたい。



(50代女性)

『带状疱疹の概要』

過去に水痘（水ぼうそう）にかかった時に、潜伏したウイルスが再活性化することで、神経に沿って带状疱疹に、時に痛みを伴う水泡（水ぶくれ）が出現する病気。症状が治った後も痛みが残り、日常生活に支障を来すことがあります。



水道料金改定

約13%増

31年ぶりの値上げへ

水道事業は、水道料金の収入を主として経営しています。水道料金が減ると漏水などの対応や、町民に安心安全な水を届けることが困難になります。

現在の水道料金では、今後の運営が厳しくなるとともに、災害時の対応や古い水道管の更新ができないため、料金改定を実施して、災害時の対応のために貯蓄財源を確保し、水道管や施設の更新を行うものです。

令和7年10月1日から実施されます。

今回の値上げはやむを得ない。全国では道路陥没もある。町が責任をもってインフラ整備を行い、私たちの命を守り続けてほしい。



(60代女性)

5月臨時会

令和7年第2回5月臨時会が5月15日に開かれ、常任委員及び議会運営委員の選任が行われました。また、令和7年度野辺地町観光協会予算について報告を受け、町税条例、半島振興対策実施地域に係る固定資産税の特別措置に関する条例等、国民健康保険条例の一部改正の専決処分について、承認しました。

任期後半の
議会組織決まる

議会運営委員会

◎赤垣 義憲
○戸澤 栄

横浜 睦成
高沢 陽子
木戸 忠勝
古林 輝信

総務常任委員会

◎五十嵐勝弘
○中谷 謙一

村中 玲子
野坂 充
大湊 敏行
赤垣 義憲

建設産業保健衛生常任委員会

◎木戸 忠勝
○横浜 睦成

高沢 陽子
戸澤 栄
古林 輝信
岡山 義廣

(◎委員長 ○副委員長)

聴く！見る！考える！つなげる！議会
“町民”の声をひろいあげます！

一般質問で政策提案

町民の声を背に

町のさまざまな課題等について、町に方針等を聞くのが「一般質問」。6月定例会では、6名の議員が登壇し、町政への質問や提言を行いました。ここでは、ダイジェスト版でお知らせしています。

詳細は会議録をご覧ください。

(9月上旬掲載予定)



支え合い切れ目のない保健福祉		
子育て支援と環境づくり	村	中
終活支援とエンディングノート導入	村	中
犯罪被害者等支援条例	中	谷
工夫と連携の地域産業		
遊休地の有効活用	木	戸
観光政策と地域おこし協力隊	大	湊
誰もが学べる教育		
行在所及び庭園の利活用	大	湊
住み続けたくなる生活環境		
日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震の防災	五十	嵐
メリハリのある行財政		
スマホ教室	村	中
職員のカスハラ対策	木	戸
消滅可能性自治体からの脱却	木	戸
自治体DXの推進	大	湊
町長と副町長の責任	赤	垣
原子力立地給付金と地方交付税	赤	垣

忙しい
皆さまに

ほぼ一瞬でわかる 審議議案と賛否

令和7年第3回6月定例会

報告	
令和6年度一般会計繰越明許費繰越計算書	—
補正予算	
一般会計（第3号） 7100万円増 総額77億6840万円 主に、定額減税補足給付金の不足額給付による。	全員賛成可決
国民健康保険事業特別会計（第1号） 50万円余り増 総額14億8845万円余り 人事異動に伴う給与費の調整などによる。	
介護保険事業特別会計（第1号） 821万円余り減 総額17億4931万円余り 人事異動に伴う給与費の調整などによる。	
水道事業特別会計（第1号） 収益的収入及び支出の既決予定額に増減なし 人事異動に伴う給与費の調整による。	
条例改正・廃止	
職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正 仕事と育児の制度利用に関する意向確認等の改正。	全員賛成可決
職員の育児休業等に関する条例の一部改正 法律の改正に伴い、所要の改正を行うもの。	
選挙長等の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正 法律の改正に伴い、所要の改正を行うもの。	
手数料条例の一部改正 事業の名称を改めるもの。	
水道事業条例の一部改正 水道料金の改正を行うもの。	
生活支援ハウス運営事業に関する条例の廃止 運営事業を終了したため、条例を廃止するもの。	
その他	
財産の取得 消防ポンプ自動車（CD－1型） 取得価格 3278万円 相手方 ㈲丸栄消機	全員賛成可決
財産の取得 小・中学校教職員用パソコン 取得価格 1452万円 相手方 ㈱ビジネスサービス青森支店	
公有水面埋立 県知事から意見を求められたので、異議ない旨を回答するもの。	
議会（委員会・議員）	
「未来につなげる幸せのまち」を次代につなげる決議 次代につながるよう更なる町政の充実を求めるもの。	全員賛成可決

To Be Continued..



子どもが健やかに育つ環境を

楽しく過ごせる公園づくりを目指す（町長）

問 共働き家庭が増える中、夏季休業中の児童館の開館時間を親の出勤前にできないか。

町長 小学校入学をきっかけに、児童館利用を始める保護者にとっては、夫婦のみで子育てする方、町外通勤の方は、出

勤前に子どもを送迎するのが難しいと推察している。可能な限り保護者の要望に沿った開館時間を検討したい。

問 公園の遊具は、主に未就学児対象であるが、小学生等も楽しめる遊具の増設は。

町長 小学生が楽しめる遊具を設置したい考えは当初からあるので、引き続き助成金の活用や財政状況を鑑みながら、安心安全に楽しく過ごせる公園づくりを目指す。



スマホ教室の開催を

公式LINE運用に合わせ開催（町長）

問 スマート自治体への移行が進む中、スマートフォン操作に不慣れな方が少なくない。住民が無理なく集まれる場所でのスマホ教室の開催を。（追跡・令和6年6月定例会）

町長 今年度、公式LINEの導入を計画しているので、運用開始に合わせ、町主催のスマホ教室を一度開催したいと考えている。

スマホ教室では、高齢者層を中心にスマートフォンの基本

エンディングノートの活用を

総合的な体制整備が必要（町長）

問 エンディングノートの活用支援を当町でも検討していただきたい。家族との対話のきっかけになり、将来的な備えとして非常に有効である。

町長 エンディングノートを配布する自治体が増えており、町も検討しているが、さまざまな業者や法律相談等が関わることとなる。町民の皆さまが終活に取り組みやすい環境を構築するなど、総合的な体制整備も必要である。

エンディングノート
高齢者が人生の終末期や判断力・意思疎通能力の喪失を伴う病気に備えて、自身の希望を書き留めておくノート。自治体等が無料配布している例もある。

書かれる内容は、さまざまなものであるが、主に、個人情報、年金・運転免許・マイナンバーなどの番号や所在、銀行口座・生命保険、葬式、その他希望することなどが挙げられる。

保護者が預けたい時にパツと預けられるような安心感が必要だと思います。安心があるところに子どもが少しずつ増えていくのではないのでしょうか。



むらなか あきこ
村中 玲子 議員



遊休地の有効活用を

売却や貸付を急ぐ考えはない（町長）

問 遊休地が有効活用されるような取組は。（追跡…令和6年12月定例会）

町長 町ではホームページに貸付・売却対象地一覧表と位置図を公表し、相談や問合せがあった際に対応している。町に

メリットがある利活用の話があれば、前向きに検討することとしている。将来的に工業団地等に造成して活用できる可能性なども考慮すれば、売却や貸付を急いで進める考えはない。



職員のカスハラ対策を

事業主として適時適切に実施（町長）

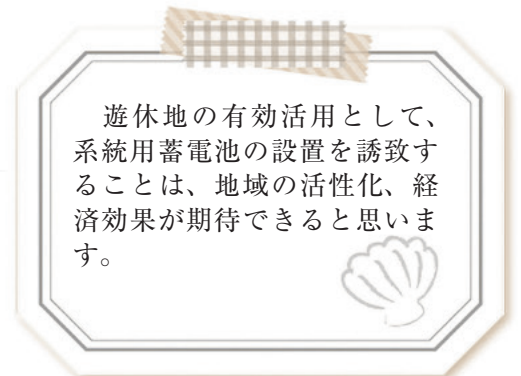
問 職員のカスハラ対策として、対応マニュアルの作成や相談体制の整備の進捗は。（追跡…令和6年12月定例会）

町長 職員の情報の取扱いを見直し、広報のへじの職員一覧における顔写真の掲載を廃止し、職員の

名札の表記を名字と所属のみとした。

ハラスメント被害を受けたときの相談は、県人事委員会に直接行うこともできることを周知している。

電話には、自動通話録音装置の導入を検討している。



遊休地の有効活用として、系統用蓄電池の設置を誘致することは、地域の活性化、経済効果が期待できると思います。



人口減少対策を

持続可能なまちづくりを進める（町長）

問 当町も消滅可能性のある自治体に該当となったが、人口減少を食い止める対策をどう考えるか。

町長 第2期野辺地町まち・ひと・しごと創生総合戦略に基づき、社会減対策と自然減対策に資する施策を展開している。今後も日本全体で人口が減少していくと予測されるが、それでも「移住・定住施策」「子育てしやすい環境づくり」を進めて、人口減少を



緩やかにしていくこと、また、住んでいく方が「この町に住んで良かった」と思えるような、将来にわたり活力のあるまちづくりに取り組んでいきたい。



きど 木戸 忠勝 議員



自治体DXのロードマップは

現時点では無い（町長）

問 DX推進計画を策定したが、住民が自ら検索や問合せを行わずに必要な情報を自動で受け取れる「プッシュ型通知」など数多くの事例が国から示される中、当町はどこから着手する考えか。

町長 町公式LINEを8月から運用開始する予定。現時点で明確なロードマップは無いが、スピード感を持って可能な取組を順次実行し、国の自治体DX推進計画を見極めながらロードマップを検討する。



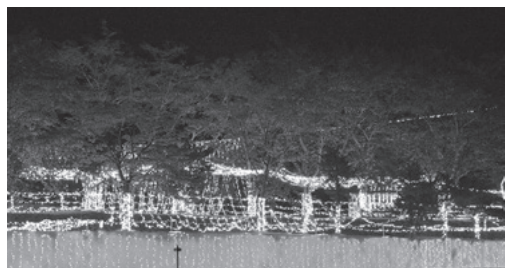
これからの観光政策は

各種イベントの見直しを行う（町長）

問 今年度4月から採用した2名の地域おこし協力隊の力を借りて進めたい観光政策は何か。

や既存施設の有効活用方法を企画・検討し、観光客や交流人口の増加、観光消費額の拡大による地域活性化を目指す。

町長 常態化が続いている各種イベントについて、地域おこし協力隊員の斬新な視点を取り入れ、イベント内容の充実化



のへじイルミネーション光物語

看板や案内板の無い行在所の現状を問題提起しました。

庁舎・行在所・庭園を含むエリアを整備し、誇り高い文化を守り育てていきたいです。



行在所や庭園の利活用は

魅力発信に努める（町長）

問 新庁舎は「歴史を尊重し、町の記憶を繋ぐ庁舎」を基本方針の一つとして建設された。この機会に行在所や庭園の在り方を見直し、より魅力的な場所となるよう整備しては。

町長 本年度も引き続き行在所の夜間特別公開を行う予定であり、新たな取組として役場駐車場スペースを活用し、鯨ヶ沢町と当町の祭り囃子の共演を企画している。

今後適切に文化財の保存を行い、当町及び行在所の魅力発信に努めていく。



おおみなと としゆき
大湊 敏行 議員



災害時における危機管理は

連絡体制と組織体制を整備する（町長）

問 町長及び副町長の退庁時間を考えたとき、災害時の危機管理は。

町長 町の地域防災計画で、準備段階から警戒段階、発生段階等の各フェーズを想定した配備態勢や職員の対応マニュアルを定めており、町長が在庁の場合と不在の場合の報告・連絡・指示系統に従って対応することになる。

災害発生時に迅速かつ適切に対応し、被害を最小限に食い止めるという危機管理のため、体制整備の更なる充実と職員のスキル向上に取り組む。

問 町長及び副町長が不在時の事務処理の影響を想定されているのか。町長及び副町長の責任とは。

町長 町長及び副町長、町議会議員は、地方公務員法第3条第3項に規定される特別職の地方公務員になる。特別職は、同法において一般職に適用される勤務時間や服務規定等は適用されない。

償還に必要な総額は

原子力立地給付金28億5千万円（町長）

町の財源は限られています。公共施設はどれも老朽化。小学校建設事業は、小中一貫校も視野に入れて計画を見直そう！



問 原子力立地給付金を原資とした役場庁舎建設基金と学校建設基金の残高は。

町長 役場庁舎建設基金は2億7733万円余り、学校建設基金は7061万円余り。

問 役場庁舎建設事業及び統合小学校建設事業の地方債償還が完了するまでの間、原子力立地給付金の給付額は。

償還完了に必要な総額は。

町長 人口減少等も加味し、令和7年度を起点として、役場庁舎建設事業に係る地方債償還が完了する令和26年度までの20年間に約22億7千万円、統合小学校建設事業に係る地方債償還が完了する令和35年度までの29年間に約31億5千万円と見込んでいる。

原子力立地給付金は償還完了までに併せて28億5千万円必要となる見込みである。



あかがき よしのり
赤垣 義憲 議員



犯罪被害者支援の充実を

事情に配慮し適切に支援（町長）

犯罪被害者

犯罪及びこれに準ずる心身に有害な影響を及ぼす行為により、害を被った者及びその家族又は遺族をいう。

犯罪被害による心身への影響（警察庁HPより）

犯罪被害を受けた後は、一種のショック状態が続く、心や体に変調を来すことが多いが、異常なことではなく、突然、大きなショックを受けた後では誰にでも起こり得ること。

周りの人たちは、犯罪被害者等の変調を理解して接し、責めたり、無理に励ましたりすることなどは避ける。

犯罪被害者等の心の傷の回復には、周囲の人々の理解と共感と支持がとても大切である。

問 犯罪被害者等に実効性のある支援をどう進めるか。

町長 令和6年度、町民の皆さまに対するアンケート調査を行った結果、町が求められているのは身近な役場での相談窓口や寄り添い型の支援であった。

問 犯罪被害者等支援条例の制定に向けた進捗状況と、今後の見通しは。

町長 町では、犯罪に遭われた方やその遺族への支援の在り方について検討を重ね、今年度中の条例制定を目指している。条例制定までは、関連する情報収集に努め、相談窓口の準備を進めている。

問 犯罪被害者等への支援を効果的に行うため、関係機関や地域住民等の理解と協力が不可欠であるが、啓発活動や連携体制の構築は。

町長 条例骨子の自治体の基本的施策に理解の増進があり、相談窓口に関することや支援及び対策について、広く周知していきたい。

主な連携先である野辺地警察署とは、これまで以上に連携し、各個人の事情に十分配慮しながら適切に支援していきたい。

明日にも起こる可能性がある犯罪とその被害者に対して、迅速な支援をするために早急に条例を制定してほしいです。



なかや けんいち
中谷 謙一 議員





巨大地震への早急な対策は

防災減災に向けた取組を図る（町長）



問 津波避難計画は、地域防災計画から抜粋した簡易版であるが、計画として分かりづらいが。

町長 地域防災計画の全編修正を機に、必要事項が記載された部分の修正も含め、その内容を計画に反映させ、分かりやすい一つの計画として改訂したいと考えている。

問 避難所生活環境改善事業の詳細は。

町長 本事業は、避難所の生活環境及び防災・減災に必要な資機材について、平時の利活用も含めて検討し、整備することとを支援する交付金事業である。

町では、避難所生活改善事業として、避難所開設時に使用する資機材を整備することとしている。

整備するのは、防災倉庫、シャワー設備、ワンタッチ折り畳みベット、簡易トイレ、ペットサークル、クイックパティション、スポーツクーラー、避難所開設キットなどで、12月末までに整備したいと考えている。

巨大地震を含め、自然災害はいつ何時、発生するか誰にも分かりません。防災減災対策の推進が町民の生命を守ることにつながります。



問 防災ステーションの整備を。

町長 災害備蓄品や避難所用資機材等の全てを補完・管理することは困難である。2次的な防災拠点施設として、地域住民の防災教室会場等に使用できる施設については、将来的に検討していきたい。

問 防災減災対策の取組は。

町長 例年実施している総合防災訓練、原子力防災訓練、各自主防災会の活動等に対し、3万円を上限に補助している。この結成数を増やすため、各自治会や団体等を対象とした勉強会を開催してお

り、町が実施する補助金などの活動支援やコミュニティ助成事業の活用方法などを説明している。

行政が行う公助と地域の共助、住民の自助の融合が、災害時の被害軽減につながるものと考えている。

ジュウジュウ...



いがらし かつひろ
五十嵐 勝弘 議員

委員会レポート

高齢者等の見守りを地域一体で

認知症高齢者見守りネットワーク事業について説明を受けました。

高齢者等が行方不明になることを未然に防止するための支援で、地域全体で高齢者等を見守るとともに、関係機関と共有し、町全体で見守り体制を強化するものです。

次の調査は..

物価高騰等による学校給食の対応

地域公共交通計画策定に向けた進捗状況

総務常任委員会

委員長 五十嵐 勝弘

議員定数の在り方とは

町議会議員定数の検討する上で、「議員間で討議できる人数」「議会の意義である多様性」「議会の組織」から調査を進めます。

人口減少時代において、多様な課題に執行部が直面する中で、議事機関である議会の役割は大きい。住民自治の充実、このような時代において重要であり、充実した議会活動の観点から検討します。

議会運営委員会

委員長 赤垣 義憲

全員協議会

野辺地町の水道を持続可能に

「人口減少に伴う給水収益の減少」と「水道施設、管路の老朽化」により、水道料金を約13%値上げし、「給水事業の維持」と「水道施設、管路の更新」を行い、将来にわたって水道水を利用できるようにするものです。

このほか、「まかど温泉スキー場あったかハウス周辺の土地の利用」「公共施設等総合管理計画の改訂」について、執行部から報告を受けています。

町の特産品は今

こかぶ農家へ視察し、今年の野辺地葉つきこかぶの生育状況を確認しました。本格的な夏を前に立派に育っていました。

ホタテ漁業者に同行し、耳ぶりの養殖ホタテの状況を現地確認しました。ほとんどのホタテがタイの食害に遭っているとのこと。議会としてできることを模索しなければいけません。



ジューシーなこかぶを前に ホタテ被害 町漁協と懇談

建設産業保健衛生常任委員会

委員長 木戸 忠勝

議員のパワハラ・セクハラ根絶へ

議員によるハラスメント行為の実態を把握するべく、議員や町職員にアンケート調査を行いました。議員、町職員いずれも議員からハラスメント行為を受けたことがあるとのこと。

次の研究は..

議員対象のハラスメント研修

議会ハラスメント防止条例の検討



議員ハラスメント
実態調査

ハラスメント対策特別委員会

委員長 村中 玲子

統合小学校いよいよ本格化

統合小学校の基本設計が完了し、実施設計へ。

校舎、体育館、グラウンド、児童館の新築工事、既存校舎の解体工事を含め、令和10年度内の完了を見込んでいます。

統合小学校新築事業調査特別委員会

委員長 大湊 敏行

議員は何してる？ 議員の活動



	26日	建設産業保健衛生常任委員会
	24日	建設産業保健衛生常任委員会
	20日	定例会（議案審議）
	19日	定例会（一般質問）
	18日	定例会（提案理由、委員会報告）
	10日	議会運営委員会
	3日	県町村議会議長会臨時総会
	29日	建設産業保健衛生常任委員会
	28日	総務常任委員会
	27日	町村議会議長・副議長研修会
	23日	ハラスメント対策特別委員会
	21日	県町村議会議長会広報研修会
	16日	郡町村議会議長会定例会
	15日	全員協議会
	9日	入札談合等関与行為調査特別委員会臨時会
	8日	議会運営委員会
	4日	入札談合等関与行為調査特別委員会
	10日	郡町村議会議長会監査会
	18日	広報委員会
	28日	統合小学校新築事業調査特別委員会

いっぱい のへじ愛
あったらどうだろ この町に

「烏帽子岳
ジップライン」を

とある声なき声
(小学校高学年と保護者)

烏帽子岳から陸奥湾までをジップライン（ワイヤーロープを滑車で滑り降りるアウトドアアクティビティ）で結び、野辺地町を上空から堪能できたら楽しいだろうと思います。
観光名所間違いなし！



皆さまからのおたより

令和7年3月定例会及び6月定例会において、傍聴者にアンケートのご協力をいただきました。貴重な意見等ありがとうございました。一部抜粋して掲載します。

「原稿を読むだけではなく、発言に想いを。」
「議会中は仕事なのでインターネット中継を。」
「一般質問の登壇議員がいつも同じ。」

9月定例会の予定

9月 4日（木） 提案理由説明等
9月 5日（金） 一般質問
9月10日（水） 決算審議
9月11日（木） 決算審議
9月12日（金） 議案等審議

※いずれも午前9時30分からです。
日程は変更になる場合があります。

広報委員会

委員長 横濱 睦成
副委員長 大湊 敏行
委員 木戸 忠勝
村中 玲子
五十嵐 勝弘
赤垣 義憲

(横濱)

さて、先般広報委員会全員が留任し、正副委員長との互選を経て新体制となりました。今後も「議会活動が分かる」をモットーに精進してまいります。皆さまのご意見等をお持ちしております。

暑い日が続く今日この頃、町民の皆さまのご健勝をご祈念申し上げます。
今号の議会だよりは6月定例会での委員会提案と委員会活動が紹介されています。特に建設産業保健衛生常任委員会の視察は過去最大の被害とされる耳づりホタテのタイの食害を船上から確認する貴重な活動でありました。

編集後記